

ふるさと探訪

第24回

藤森荒魂神社



喜多台にある藤森荒魂神社は旧社号を荒神宮といい、古くから北（喜多）台村の氏神様として崇敬されてきました。神明造の本殿は、もとは壬生川小学校の御真影奉安殿で

あったものを、昭和21年7月の取り壊しの際、地区で譲り受けて移築したものです。

社前左側には、樹齢300年に及ぶといわれる藤の木があります。この木は、地元喜多台老人クラブの皆さんが

剪定や施肥などの管理を行っており、丹精込めて育てた藤は、毎年4月の中旬に咲き始め5月上旬には大きな房が開となります。例年5月4日頃には、神社の境内で「藤まつり」が催され、カラオケ大会などで賑わっています。

また、今年と同老人クラブでオリジナル曲の「藤森の

歌」が制作され、去る2月に発表されました。この曲には藤を愛する気持ちや神社の歴史、喜多台の風景などが親しみやすいメロディーで作られています。

今年の「藤まつり」では、藤の甘い香りと「藤森の歌」が、神社の境内を包み込むことでしょう。

■住所 喜多台74

■駐車場 なし



見事な花を咲かせる藤森荒魂神社の藤

